



剣山



令和6年6月27日 No.4

～教育目標～

みんなで学び
かたをくみあう
けんきな子

避難訓練より

校長 佐藤 貴光

6月12日（水）、春の避難訓練を行いました。清水消防署の方にも来校いただき、訓練の様子を見ていただくとともに、避難終了後にご講評とご助言をいただきました。

9時40分、地震発生の放送が鳴ると子どもたちは机の下に避難し、担任の先生方は避難経路確保のために窓やドアを開けます。続いて「家庭科室で火災発生」の放送が流れると、子どもたちは担任の先生の指示を聞きながら、鼻や口にハンカチを当てて避難開始。同時に担任の先生方は、火災の広がりを防ぐために教室の窓やドアを閉め照明を消し、子どもたちの逃げ残りや転倒がないよう避難状況に留意しながら、避難場所（グラウンドの赤旗が経っている場所）を目指します。並行して、学級担任以外の先生方が「校舎内に取り残されている児童がいるかもしれない」という想定の下、大きな声で呼びかけながら校舎内の確認を行います。このように避難や確認を行いながら、子どもたちと教職員の安全（人数と状況）が確定した時点で、訓練は終了となります。



地震発生の放送が入った直後、私は早足で校舎内を回りましたが、子どもたちの話し声は全くありませんでした。その後の避難や講評を聞く姿からも、訓練に臨む子どもたちの真剣な姿勢を感じました。嬉しいことです。災害はいつ発生するか分からないからこそ、真剣に訓練に臨むことが大切です。また、「お・は・し・も」（「押さない・落ちつく」「走らない」「喋らない」「戻らない」）の徹底など、緊急時に必要な態度や行動について各学級でしっかりと確認した成果でもあります。

訓練は、本当に地震や火災などが発生したときに落ち着いて行動できる態度を身に付けることや、迅速かつ安全に避難できる力を身に付けることを目的に行います。一人一人が落ち着いて行動することが自分の安全を守ることにつながり、それが周りの人や全体の安全を守ることにもつながると思います。

消防署の方からも、子どもたちの避難の様子や態度に対しお褒めの言葉をいただきました。加えて、「校舎から外に出た際には、鼻や口を覆っていたハンカチを外した方が避難しやすいこと」をアドバイスいただきました。今後も安全な学校生活に努めてまいります。



7月の行事予定

- 2日（火） にんにく収穫体験（4年）
書写ボランティア
町服務規律研修会
- 3日（水） 渋沢栄一翁肖像画新一万円札発行記念式
職員会議
- 4日（木） 社会科見学（4年 浄水場）
- 5日（金） 外国語活動 学年レク（1年）
- 7日（日） 町民陸上大会（御影中）
- 8日（月） 御影小読書週間 クラブ
食育指導（6年）
- 9日（火） 児童会 外国語活動

- 10日（水） 十勝若牛飼育見学（1年）
- 11日（木） 修学旅行（～12日） 移動図書
- 12日（金） 外国語活動
- 15日（月） 十勝管内PTA 研究大会（幕別町）
- 16日（火） 参観日（低学年） 外国語活動
- 18日（木） 参観日（高学年） 外国語活動
落語体験学習（4年）
- 19日（金） しみず読書の日 外国語活動
- 20日（土） 学年レク（2年・6年）
- 23日（火） 外国語活動 下校パトロール
- 25日（木） 1学期終業式 月末統計・安全点検
- 26日（金） 夏季休業（～8/20）
- 29日（月） 御影消防クラブ視察研修

